



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 帝国ホテル

コード番号 9708 URL <http://www.imperialhotel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 定保英弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 宮新朋明

TEL 03-3504-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	26,032	3.8	1,585	26.9	1,679	26.6	1,101	30.6
27年3月期第2四半期	25,067	0.9	1,248	1.7	1,326	△2.7	843	1.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,031百万円 (17.8%) 27年3月期第2四半期 875百万円 (△6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.57	—
27年3月期第2四半期	14.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	69,592	49,103	70.6
27年3月期	70,214	48,487	69.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 49,103百万円 27年3月期 48,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期期末配当の内訳 普通配当7円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,200	2.7	4,300	10.3	4,500	9.5	2,700	11.5	45.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	59,400,000 株	27年3月期	59,400,000 株
28年3月期2Q	75,845 株	27年3月期	75,843 株
28年3月期2Q	59,324,156 株	27年3月期2Q	59,324,199 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調を続けてまいりました。

ホテル業界におきましては、アジアを中心とした訪日外国人客数の増加や好調な国内の観光需要に支えられ、宿泊の客室稼働率が上昇し、一室単価も増加するなど、良好な経営環境が継続いたしました。

当社グループにおきましては、本社の開業125周年、大阪の20周年を契機とした多彩な記念催事の開催や各種記念商品の販売促進を積極的に展開してまいりました。また、より高品質なサービスを提供すべく改修した、本社タワー最上階「プレミアムタワーフロア」の販売を開始し、さらに、昨年新設したシンガポール営業所を中心に、アジアマーケットに向けた営業活動を強力に推進するなど、ブランド力と営業力を結集し、売上げの増進に全力を注いでまいりました。設備面におきましても、本社タワー客室の改修など、競争力の強化を図るべく、諸施設の改善に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.8%増の26,032百万円となり、営業利益は前年同期比26.9%増の1,585百万円、経常利益は前年同期比26.6%増の1,679百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比30.6%増の1,101百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比3.9%増の24,193百万円、営業利益は前年同期比19.3%増の1,538百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比3.4%増の1,849百万円、営業利益は前年同期比11.9%増の1,002百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し69,592百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.1%減少し34,929百万円となりました。これは有価証券などが増加し、一方で、現金及び預金などが減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し34,662百万円となりました。これは投資その他の資産が増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.3%減少し8,020百万円となりました。これは未払費用や未払法人税等の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し12,468百万円となりました。これは退職給付に係る負債の減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し49,103百万円となりました。これは利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の減速や不安定な国際情勢の影響などが懸念されますが、景気は緩やかな回復基調が継続するものと予想されます。

ホテル業界におきましては、販売競争の一層の激化が予想されますが、訪日外国人客数のさらなる増加やオリンピックイヤーに向けた機運の高まりを受け、良好な経営環境の継続が期待されます。

当社グループといたしましては、来年3月までを本社の開業125周年、大阪の20周年販売促進期間とし、各種記念企画や商品の販売を全社的に展開してまいります。また、訪日外国人客の利用の促進や大型国際会議の獲得に向けた営業と広報活動を積極的に展開し、設備面におきましても、本社タワー客室の改修を継続的に行うなど、ハードウェア、ソフトウェア、ヒューマンウェアの総力を挙げ、売上げの向上と競争力の強化に努め、国際的ベストホテルを目指し、グループ一丸となって邁進してまいります。

なお、平成27年5月12日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,381	21,900
売掛金	3,426	3,085
有価証券	6,735	8,266
貯蔵品	452	488
繰延税金資産	630	528
その他	1,201	668
貸倒引当金	△17	△7
流動資産合計	36,810	34,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,397	14,334
その他(純額)	4,621	4,802
有形固定資産合計	19,019	19,137
無形固定資産	1,263	1,304
投資その他の資産	13,121	14,220
固定資産合計	33,404	34,662
資産合計	70,214	69,592
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,246	1,041
未払法人税等	781	463
未払費用	1,978	1,627
前受金	1,001	1,270
賞与引当金	1,018	1,096
役員賞与引当金	47	29
その他	3,172	2,492
流動負債合計	9,245	8,020
固定負債		
退職給付に係る負債	7,335	7,303
資産除去債務	957	966
長期預り金	4,061	4,071
その他	126	126
固定負債合計	12,481	12,468
負債合計	21,727	20,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	45,769	46,455
自己株式	△89	△89
株主資本合計	48,543	49,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	775	741
退職給付に係る調整累計額	△831	△867
その他の包括利益累計額合計	△56	△125
純資産合計	48,487	49,103
負債純資産合計	70,214	69,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	25,067	26,032
材料費	5,222	5,478
販売費及び一般管理費	18,596	18,968
営業利益	1,248	1,585
営業外収益		
受取利息	20	23
受取配当金	14	16
持分法による投資利益	0	1
その他	41	53
営業外収益合計	77	94
経常利益	1,326	1,679
税金等調整前四半期純利益	1,326	1,679
法人税、住民税及び事業税	289	428
法人税等調整額	193	149
法人税等合計	483	578
四半期純利益	843	1,101
親会社株主に帰属する四半期純利益	843	1,101

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	843	1,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△34
退職給付に係る調整額	△14	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	32	△69
四半期包括利益	875	1,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	875	1,031

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,326	1,679
減価償却費	1,222	1,213
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	77
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36	△32
受取利息及び受取配当金	△35	△39
持分法による投資損益(△は益)	△0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	410	341
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23	△36
仕入債務の増減額(△は減少)	△225	△205
未払費用の増減額(△は減少)	△710	△350
長期未払金の増減額(△は減少)	△22	-
長期預り金の増減額(△は減少)	63	10
差入保証金の増減額(△は増加)	0	△0
その他	275	243
小計	2,272	2,872
利息及び配当金の受取額	83	75
法人税等の支払額	△775	△737
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,580	2,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△640	△1,316
投資有価証券の取得による支出	△410	△425
投資有価証券の償還による収入	300	200
その他	△61	△233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,311	△2,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△356	△414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△356	△414
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△87	△980
現金及び現金同等物の期首残高	22,490	25,880
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,402	24,899

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,289	1,777	25,067	—	25,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10	10	△10	—
計	23,289	1,788	25,077	△10	25,067
セグメント利益	1,289	895	2,185	△936	1,248

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,193	1,839	26,032	—	26,032
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10	10	△10	—
計	24,193	1,849	26,042	△10	26,032
セグメント利益	1,538	1,002	2,540	△955	1,585

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。